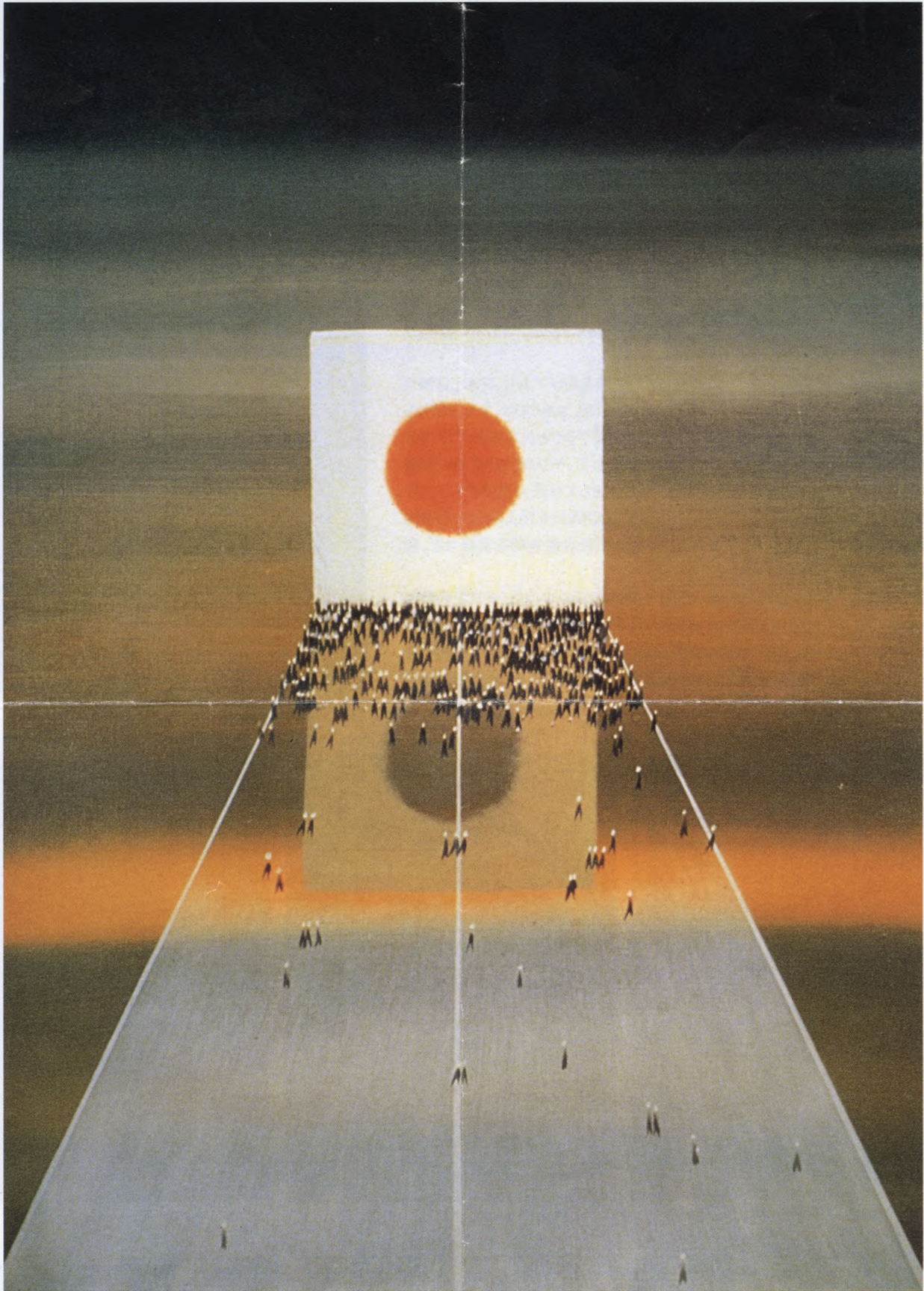


CHILE, VISUAL ARTS TODAY



NEMESIO ANTUNEZ "WALK TOWARD THE SUN"



チリ現代美術展

日本チリ修好100周年記念事業

草月美術館 9/4(木) 20(土)'97
the sogetsu art museum

開館時間 ■ 10:00am~5:00pm (金曜10:00am~7:00pm)

休館日 ■ 日曜日・祝日 入場料 ■ 無料

主催 ■ 日本チリ修好100周年記念事業組織委員会 /
チリ共和国外務省 / チリ共和国大使館

協賛 ■ 日本万国博覧会記念協会

協力 ■ (財) 草月会



FMA
ANTUNEZ



チリ現代美術展

CHILE, VISUAL ARTS TODAY

チリ共和国は南米大陸の太平洋に面した南北4270kmに及ぶ世界一細長い国で、北部の砂漠地帯から、中央部の農耕地帯、南部の森林・湖沼地帯、さらに南極と続き、又、東側には6000~7000m級のアンデス山脈が連なり、非常に変化に富んだ気候風土に恵まれています。

地球の果てともいえる地理的環境にあるチリは、独特の文化を生みだし、ラテンアメリカ諸国の中で最も教育水準が高く、ガブリエラ・ミストラル(1899~1957)及びパブロ・ネルーダ(1904~1973)の2名のノーベル文学賞を受賞した詩人を輩出しています。国際的に活躍したピアニストのクラウディオ・アラウ(1903~1991)、又、今回の出展作家でもあるシュール・レアリズムの巨匠ロベルト・マッタもチリ出身の芸術家です。

チリは近年、政治的・経済的安定のもと目覚ましい発展を遂げており、日本とは特に重要な貿易のパートナーとしてその絆を深めています。今年、1997年は、チリと日本の外交が1887年に樹立されてから100周年目に当たります。チリと日本両国では修好100周年を祝う様々なイベントを催しますが、その一環として、チリ現代美術展を開催します。これまで日本で開催された中でチリの現代美術展としては最大規模のものです。チリ独特の文化に育てられた現代美術も新たな飛躍の時代を迎え欧米の影響を受けながらもラテンアメリカ特有のシュールレアリズムや社会風刺的な表現など、独自の世界が展開されています。

今回の展覧会は、チリ国立美術館館長ミラン・イヴェリク氏を中心に、チリ現代美術館館長である彫刻家エルナン・プエルマ氏、美術評論家でもあるチリ外務省ガブリエル・バーロス氏の3名のキュレーターによって作品選定がなされた、チリ現代美術館のコレクション展です。チリの現代作家80名の作品82点を展示したこの展覧会は、今日の活発なチリ現代美術の現状を知る絶好の機会となることでしょう。



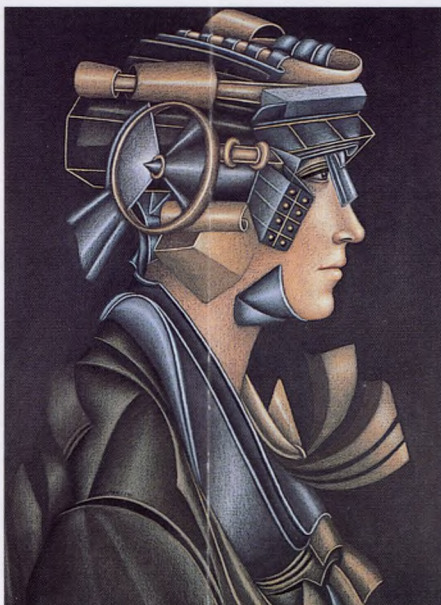
ロベルト・マッタ 花の記憶



エルネスト・バンデーラス 月夜



カルロス・マトウラナ (ボロロ) 全存在へのモニュメント



カルメン・アルドゥナーテ 無題



フランシスコ・コルクエラ オディオ

ARTIST (出展作家) ロベルト・マッタ、クラウディオ・ブラボ、ネメシオ・アントウネス、マリオ・トラル、ゴンサロ・シエンフエゴス、ベニート・ロホ、エルナン・プエルマ 等計80名
出展作品 計82点

草月美術館 the sogetsu art museum

〒107 東京都港区赤坂7-2-21 草月会館6F TEL: 03-3408-9112
交通案内 ■ 地下鉄銀座線・半蔵門線青山一丁目駅より徒歩5分
地下鉄銀座線・丸の内線赤坂見附駅より徒歩10分

Subway to take Ginza and Hanzomon Line for Aoyama 1-chome Station.
5 minutes walk from its exit.
Subway to take Ginza and Marunouchi Line for Akasaka-mitsuke Station.
10 minutes walk from its exit.



マルタ・コルビン アンデスの地平線